

富山県
神社庁報

かわら版

平成二十三年八月二十七日発行
発行所 富山県神社庁
編集 教化委員会広報部会

第二回青壮年の為の「伊勢の神宮」参拝の旅

去る七月五日より一泊二日の日程で、青壮年の為の「伊勢の神宮」参拝の旅が実施されました。初めての企画ともあって、締切日には募集人員に達せず実施が危ぶまれましたが、お蔭さまで総勢



宇治橋前の記念撮影

二十四名の参加がありました。一日目は外宮を参拝。先ず平尾賢部会長から参拝時の心構えをはじめ、手水の作法などの説明があり、御垣内参拝の後、多賀宮などの別宮を参拝しました。また、神宮徴古館では神宮宮掌高橋弘幸氏にご案内をいただき、一同は神秘的な面持ちで神宮の由緒を学び御神宝を拝観しました。

二日目は、神宮出仕山内健史氏のご案内により、約二時間半かけて、御垣内参拝・御神楽奉納・別宮参拝を行いました。また、参加者からの様々な質問に、懇切丁寧に回答いただき、普段から疑問に思っていたことなどが解決された様子でした。

両日共、気温三十五度を超える猛暑日でありましたが、参加者にとっては清々しく感じられた二日間であり、伊勢の神宮や神道への更なる理解と信仰を深めた旅となりました。

神宮奉賛部会 書記 浦 泰宏



女子神職衣紋研修会

七月二十八日、富山県神社庁にて講師に福山康江先生、橋爪かおり先生をお迎えし、衣紋研修会を行いました。参加人数は十二名。各自正装を持参し、実際に著装して正式な衣紋を学ぶ事によって、今迄の自己流が改められた気がしました。



した。又、宮中賢所に奉仕された経歴をお持ちの橋爪先生からは垂髪（しんぱつ）の結い方や、特別に宮中装束を見せて頂き、華やいだ充実した研修会でした。

若宮 多加子



正装の著装

明治神宮代々木雅楽会との雅楽交歓会

今年で四回目となる明治神宮代々木雅楽会との雅楽交歓会を七月六日（水）から八日（金）までの日程で開催しました。隔年で会場を入れ替えており、今年は明治神宮が当番会場となりましたので、部員六名（各管二名）が上京し、交流を深めました。管別の練習や合奏練習に加え、宮内庁楽長先生から直接ご指導いただく機会にも恵まれました。また、皇居内にある宮内庁楽部の見学や明治神宮御苑の花菖蒲の拝観なども予定されていたこともあり、とても有意義な交歓会となりました。来年は当県にお招きする年になりますので、更なる研鑽に励み、万全な体制でお迎えしたいと思います。



明治神宮神楽殿での合奏風景

雅楽研修会

去る七月二十日・二十一日に「第八回雅楽研修会」を開催しました。今年も宮内庁式部職楽部 元首席楽長 上 明彦先生、東京藝術大学 非常勤講師 副島昌俊先生、明治神宮代々木雅楽会楽長 柴田直宏先生をお招きし、熱心にご教授いただきました。『双調』の「音取」「酒胡子」「胡飲酒序」「平調」の「越殿楽残楽三返」を新しく習いました。また、舞楽「蘭陵王」の演奏や舞もあわせて教えていただきました。「蘭陵王」の完成は、もう少し先のこともかもしれませんが、演奏曲目にも幅が出てきており、今回習った事柄を忘れることなく、部員一人一人が情熱をもって練習に取り組んでほしいと思います。



富山県神社庁での練習

（第六十二回伊勢神宮式年遷宮奉祝）
「**みやび 雅音楽祭**」悠久の調べにのせて、**開催**
日時 十月十六日（日）午前十時～午後七時
会場 総曲輪グランドプラザ

来る十月十六日（日）午前十時から午後七時まで、総曲輪グランドプラザにて、第六十二回伊勢神宮式年遷宮奉祝『雅音楽祭』悠久の調べにのせて、が開催され、雅楽部として出演することになっております。研修会の成果が充分に発揮できるよう演奏しますので、是非、お越しいただき、ご声援賜りますようお願い申し上げます。

雅楽部 部長 藤井秀嗣

第二十七回 庭燎の集い

第二十七回 庭燎の集いは七月三十一日 八尾町の杉原神社（杉原秀雄宮司）に於いて開催しました。児童・父兄、六十名ほどの参加でありました。今年、東日本大震災があり、改めて日本・ふる



杉 原 神 社 へ 参 拝

さとを考えさせられました。そこで集いの中に空き缶による炊飯、雅楽演奏を取り入れました。夕食は児童自身に米を研いでもらい、空き缶を使用して炊飯し、保護者が作ったカレーをかけてカレーラ



空 き 缶 で の 炊 飯

イスを食べました。炊飯の手間暇を知り、児童等はとても満足そうでした。また、富山県神社庁雅楽部による、雅楽演奏、朝日舞をおこない日本の伝統芸能を鑑賞してもらいました。児童等は真剣な様子で見っていました。



朝 日 舞 の 鑑 賞

第二回「朝日舞研修会」開催

平成二十三年六月二十一日（火）神社庁において、県内神社における祭祀舞の普及並びに振興に資することを目的に開催しました。

朝日舞は明治天皇の御製二一首に昭和二十五年に東儀和太郎氏が曲を付けたもので、神に捧げる舞として神社本庁にて制定されました。神社庁祭祀舞講師武田邦浩先生のご指導のもと、十二名が参加しました。

なお、九月上旬まで月二・三回計六回の温習を引続き開催し、受講生一同秋祭には立派に奉務神社にて奉納する予定です。



朝 日 舞 研 修 風 景

第十三回「浦安の舞講習会」開催

平成二十三年八月二日（火）から五日（金）まで、恒例の「浦安の舞講習会」を高瀬神社参集殿で開催しました。

初級者講習は二日・三日の二日間、山本えつ子・篠原俊栄両先生にご指導を頂き、小学生から女子神職を含め十六名が受講しました。



研 修 風 景



先 崎 先 生 の ご 挨 拶

第三十四回 お宮さんを描く写生大会

第三十四回 お宮さんを描く写生大会は二歳から中学三年生まで四百三十九点の応募がありました。八月七日、県神社庁において、野口隆先生、堀敏治先生に審査をしていただき、特別賞四作品、金賞、銀賞、銅賞、

アートケイ賞、アートジム賞等入選作一五五点を選んでいただきました。全作品は八月十日から八月十七日までとやま自遊館で、入選作品は八月十八日より八月二十三日まで呉東地区は大和富山店、呉西地区は大和高岡店で展示されました。表彰式は八月二十一日に呉東地区は大和富山店において、平尾副庁長、堀先生、平尾副委員長臨席のもと、また呉西地区は大和高岡店にお



表 彰 式



賞 状 を 持 っ て 記 念 撮 影



研 修 風 景



先 崎 先 生 の ご 挨 拶